

I 交通に関する現況

1. 総合計画での位置づけ

(1) 基本構想での位置づけ

「たけとよ ゆめたろうプラン 第5次武豊町総合計画（平成20年度）」では、7つの基本構想のうちの一つとして「安全に暮らせるまち」を挙げており、この基本目標の分野別将来像の一つとして「道路や公共交通を利用して気軽に移動できるまち」を挙げている。これが総合計画の中での、地域公共交通に関する基本的な位置づけである。

図 1-1 「たけとよ ゆめたろうプラン 第5次武豊町総合計画」基本構想



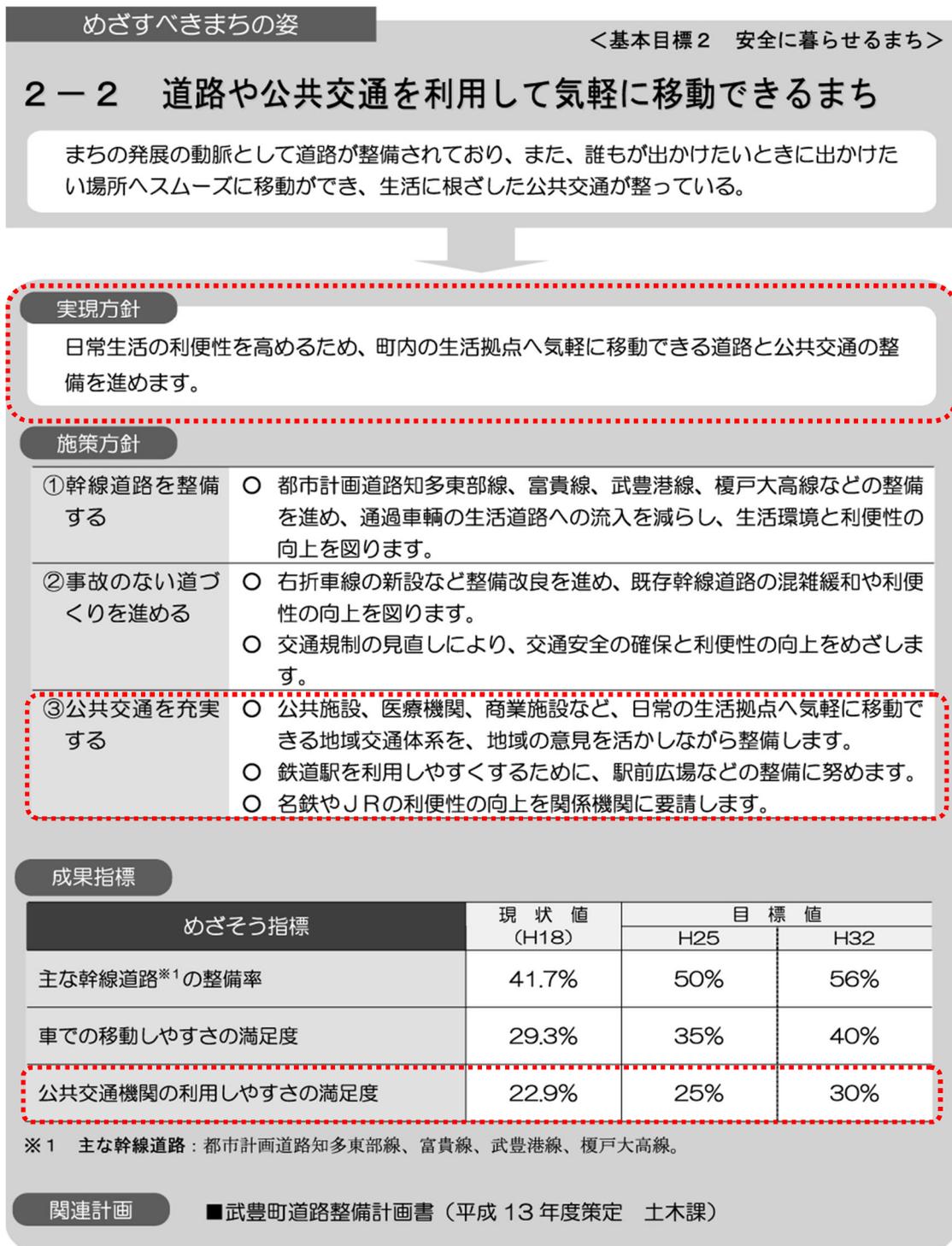
〈資料〉たけとよ ゆめたろうプラン

(2) 実現方針・施策方針

「たけとよ ゆめたろうプラン 第5次武豊町総合計画」では、(1)で述べた分野別将来像を実現するための「実現方針」と「施策方針」、「成果指標」を示している。地域公共交通に関する分野別将来像「道路や公共交通を利用して気軽に移動できるまち」に対しては、下図のように位置づけている。

総合計画は平成20年度に策定しており、第1次地域公共交通総合連携計画策定時から特に変更はない。

図1-2 実現方針・施策方針・成果指標



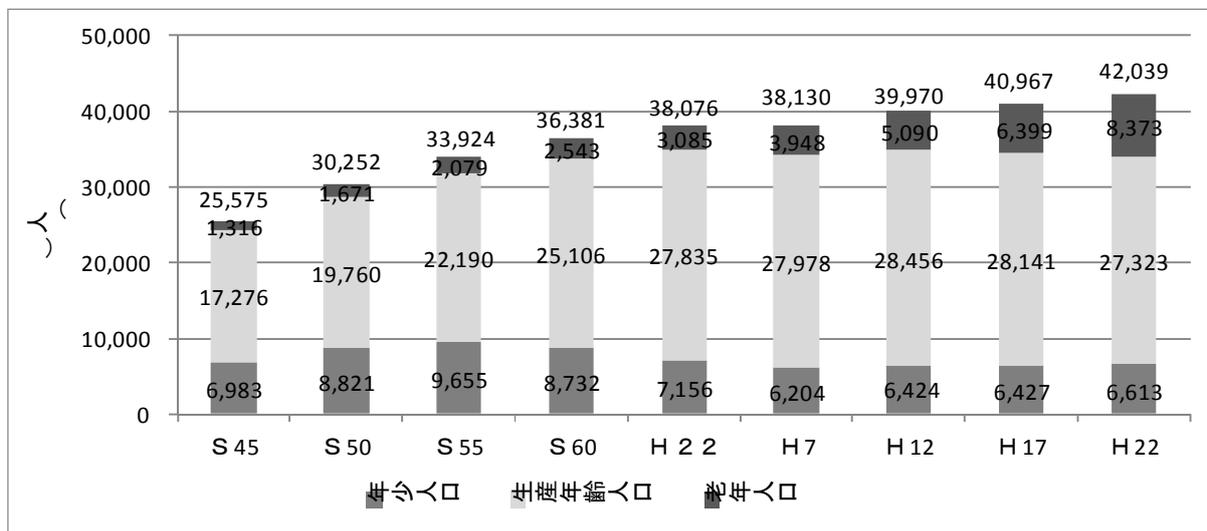
〈資料〉たけとよ ゆめたろうプラン

2. 潜在需要となる人口動向

(1) 武豊町の人口推移

武豊町の人口は、国勢調査人口によると、これまで増加傾向にあり、平成 22 年時点では 42,309 人であった。

図 1-3 武豊町の人口推移

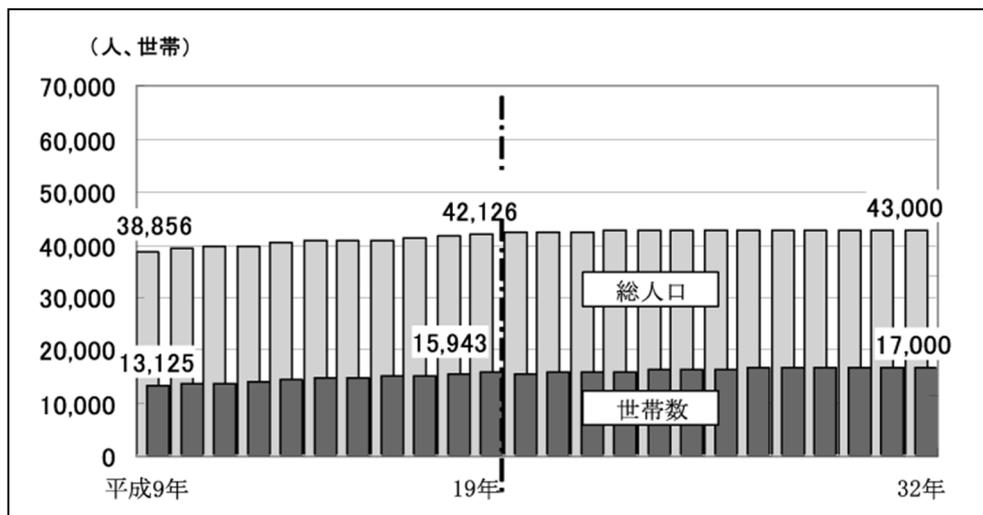


(資料) 国勢調査人口

(2) 武豊町の人口見通し

平成 20 年度に策定された「たけとよ ゆめたろうプラン 第 5 次武豊町総合計画」によると、人口の増加傾向は今後もしばらく続き、平成 29 年にピークを迎えてその後はゆるやかに減少し、平成 32 年には約 43,000 人になる見込みとしている。

図 1-4 武豊町の総人口・世帯数



(資料) たけとよ ゆめたろうプラン 第 5 次武豊町総合計画

(3) 国立社会保障・人口問題研究所における人口見通し

国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口」によると、武豊町の将来人口は、平成32年まで増加する見通しであり、総合計画の人口増加見通しを裏付けている。

図 1-5 武豊町の将来推計人口

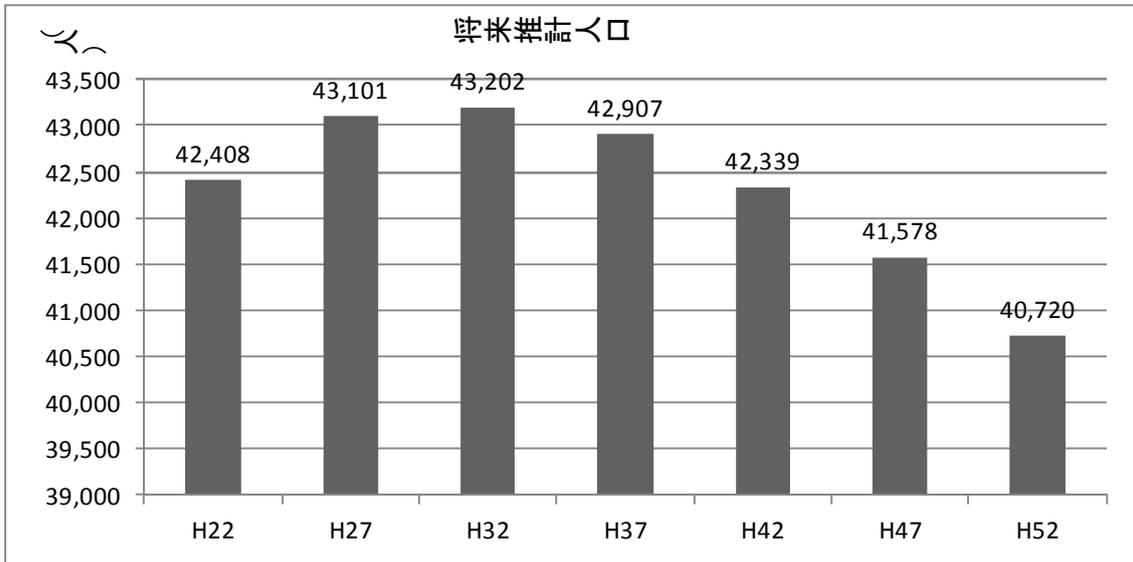


表 1-1 武豊町の将来推計人口（年齢階級別データ）

武豊町 男女計	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H52
	総数	42,408	43,101	43,202	42,907	42,339	41,578
0～4歳	2,092	2,045	1,990	1,900	1,766	1,688	1,617
5～9歳	2,300	2,091	2,033	1,990	1,679	1,602	1,603
10～14歳	2,303	2,230	2,000	2,010	1,685	1,605	1,600
15～19歳	2,113	2,297	2,333	2,210	2,000	1,600	1,712
20～24歳	2,200	2,235	2,292	2,210	2,230	2,100	1,930
25～29歳	2,237	2,293	2,330	2,260	2,233	2,226	2,212
30～34歳	2,092	2,160	2,131	2,000	2,014	2,007	2,017
35～39歳	2,003	2,097	2,117	2,000	2,019	2,013	2,013
40～44歳	2,118	2,005	2,003	2,000	2,001	2,015	2,000
45～49歳	2,007	2,122	2,003	2,000	2,006	2,001	2,000
50～54歳	2,237	2,044	2,000	2,004	2,000	2,000	2,010
55～59歳	2,000	2,112	2,000	2,000	2,000	2,000	2,011
60～64歳	2,007	2,044	2,000	2,000	2,000	2,000	2,004
65～69歳	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
70～74歳	1,400	1,833	2,000	2,000	2,000	1,600	2,000
75～79歳	1,000	1,200	1,500	2,000	2,000	1,600	1,600
80～84歳	500	700	1,000	1,000	1,500	1,600	1,600
85歳以上	200	400	500	300	0	1,200	1,600
再掲(0～4歳)	600	600	500	500	500	500	500
再掲(5～9歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(10～14歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(15～19歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(20～24歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(25～29歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(30～34歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(35～39歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(40～44歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(45～49歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(50～54歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(55～59歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(60～64歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(65～69歳)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
再掲(70～74歳)	1,400	1,833	2,000	2,000	2,000	1,600	2,000
再掲(75～79歳)	1,000	1,200	1,500	2,000	2,000	1,600	1,600
再掲(80～84歳)	500	700	1,000	1,000	1,500	1,600	1,600
再掲(85歳以上)	200	400	500	300	0	1,200	1,600
年齢別割合(0～4歳・%)	4.9	4.7	4.6	4.4	4.2	4.0	3.9
年齢別割合(5～9歳・%)	5.7	4.8	4.7	4.6	3.9	3.9	3.9
年齢別割合(10～14歳・%)	5.4	5.3	4.6	4.9	3.8	3.8	3.9
年齢別割合(15～19歳・%)	5.0	5.3	5.3	5.2	4.7	3.8	4.2
年齢別割合(20～24歳・%)	5.2	5.3	5.3	5.2	4.8	4.8	4.8
年齢別割合(25～29歳・%)	5.2	5.3	5.3	5.2	4.8	4.8	4.8
年齢別割合(30～34歳・%)	4.9	5.0	4.9	4.7	4.7	4.8	4.8
年齢別割合(35～39歳・%)	4.9	4.9	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8
年齢別割合(40～44歳・%)	5.2	4.8	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8
年齢別割合(45～49歳・%)	5.2	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8
年齢別割合(50～54歳・%)	5.2	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8
年齢別割合(55～59歳・%)	4.9	4.8	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8
年齢別割合(60～64歳・%)	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8
年齢別割合(65～69歳・%)	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8
年齢別割合(70～74歳・%)	3.3	4.2	4.6	4.7	4.7	3.8	4.9
年齢別割合(75～79歳・%)	2.4	2.8	3.5	4.7	4.7	3.8	3.9
年齢別割合(80～84歳・%)	1.2	1.6	2.3	2.3	3.5	3.8	3.9
年齢別割合(85歳以上・%)	0.5	0.9	1.1	0.7	0.0	2.9	3.9

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成25年見推計)

(4) 流出入人口 (15 歳以上)

国勢調査における武豊町の流出入人口は下表のようになっている。流入人口を流出人口が上回り、特に半田市、名古屋市、常滑市への流出が激しいことがわかる。一方で、知多市、南知多町及び美浜町からは流入人口が流出人口を上回っている。

平成 17 年・22 年の比較では、通勤の流出と通学の流入量が増加しているが、全体として、流出・流入ともに全体量は減少している。

流出入人口のうち、名古屋市・半田市・美浜町などとの通勤・通学流動は、流出で 8,500 人、流入で 4,900 人発生しており鉄道駅を経由した公共交通の潜在利用者となる。

表 1-2 流出入人口 (上表：H17 年 下表：H22 年)

区分	流出口			流入人口		
	総数	通勤	通学	総数	通勤	通学
半田市	5,511	5,109	322	2,622	2,708	104
名古屋市	2,160	1,755	405	269	263	6
常滑市	1,360	1,324	36	884	888	55
美浜町	66	588	122	1,309	1,360	59
東海市	533	468	65	177	172	5
碧南市	324	319	5	52	52	0
知多市	269	266	3	233	238	4
阿久比町	339	233	106	268	248	20
南知多町	288	260	28	574	577	4
東浦町	239	236	3	133	165	32
刈谷市	237	233	4	6	6	0
大府市	224	233	9	22	22	0
安城市	122	117	5	38	38	0
その他	768	522	246	333	333	0
総数	13,966	11,999	1,967	7,324	7,924	600

〈資料〉平成 17 年国勢調査

区分	流出口			流入人口		
	総数	通勤	通学	総数	通勤	通学
半田市	5,388	5,011	377	2,666	2,708	108
名古屋市	2,077	1,665	412	269	263	6
常滑市	1,415	1,415	0	998	882	116
美浜町	76	622	14	1,224	1,360	136
東海市	533	443	90	166	166	0
碧南市	324	324	0	37	37	0
南知多町	324	288	36	566	491	75
阿久比町	333	260	73	266	239	27
知多市	243	243	0	266	233	33
東浦町	224	224	0	151	146	5
刈谷市	221	221	0	43	43	0
大府市	269	266	3	66	66	0
安城市	117	117	0	33	33	0
その他	833	521	312	386	377	9
総数	26,944	21,524	5,420	17,266	16,924	342

〈資料〉平成 22 年国勢調査

図 1-6 通勤流動の推移（上：通勤 下：通学）

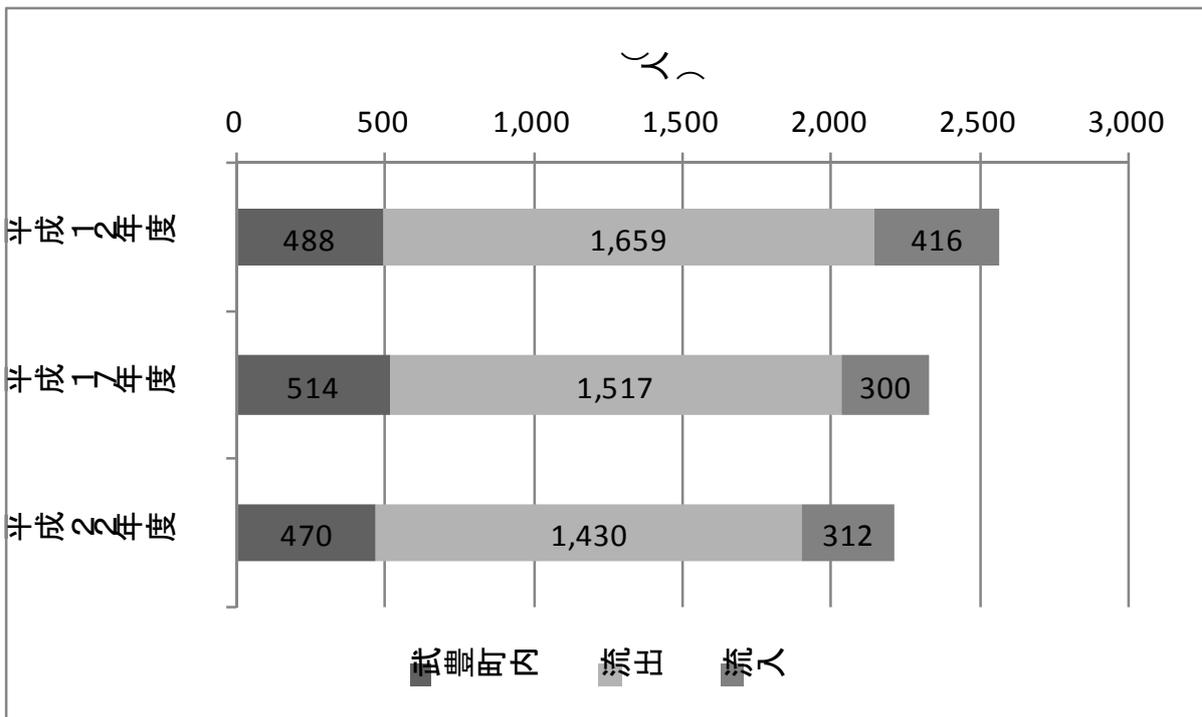
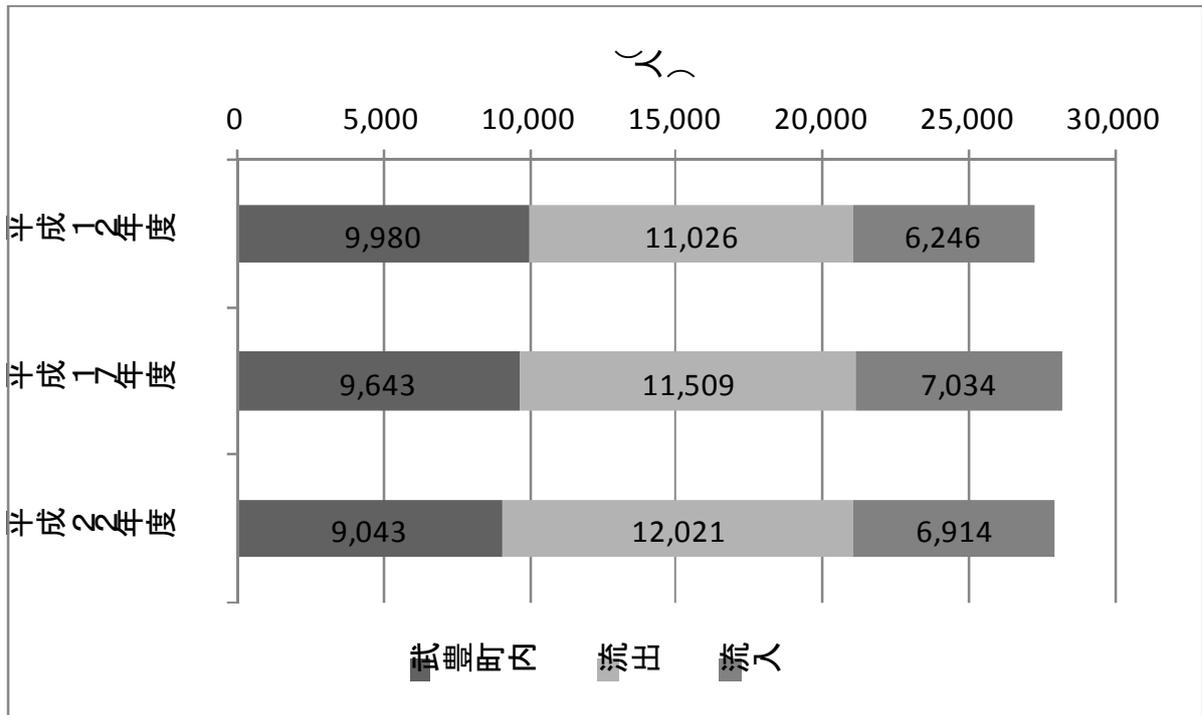


図 1-7 武豊町の通勤流動（上：H17 下：H22）

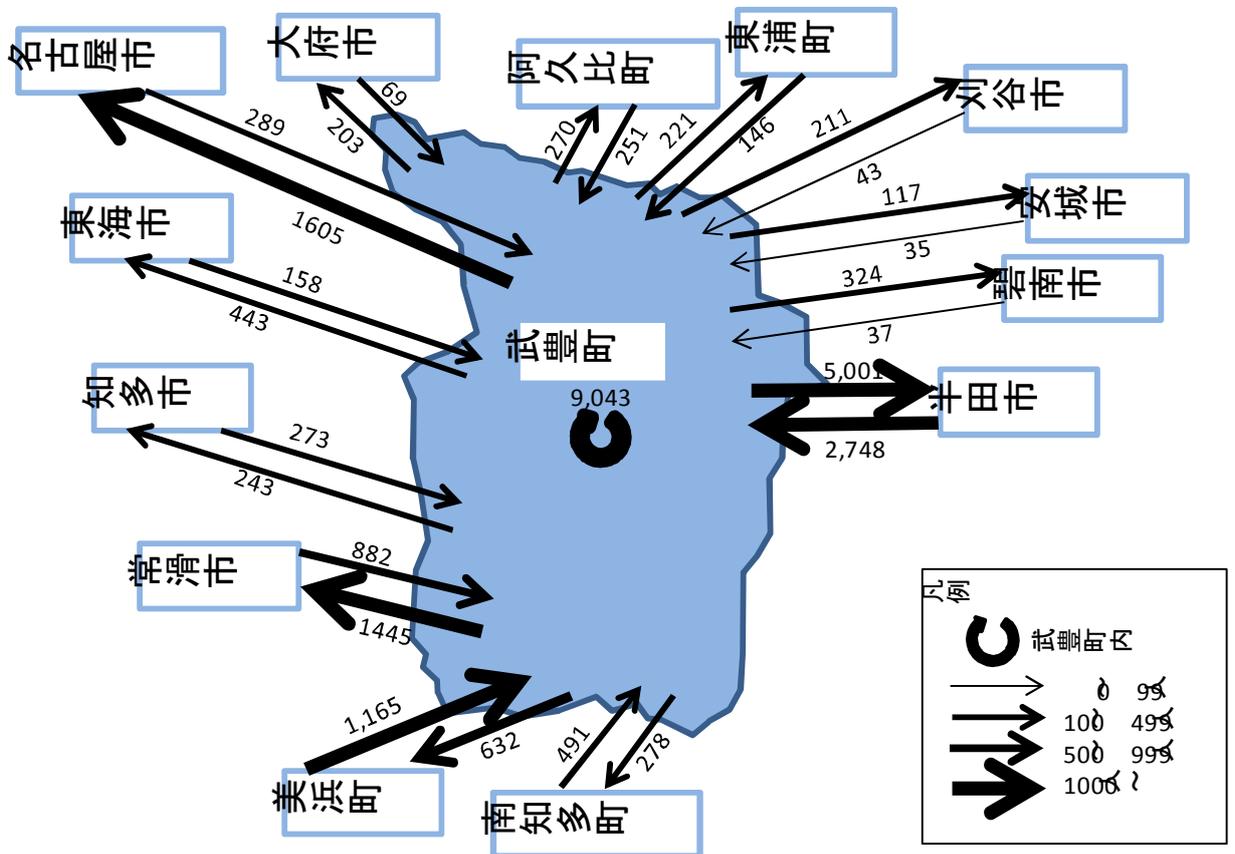
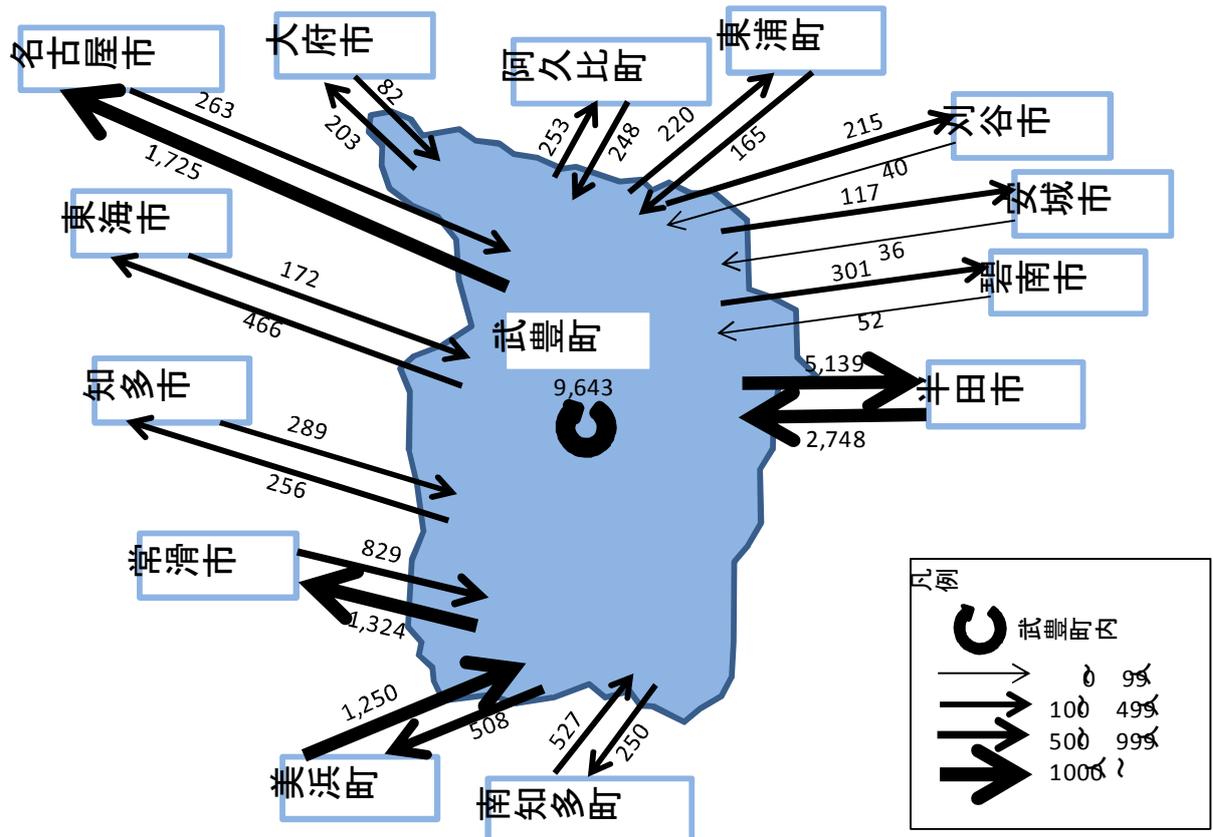
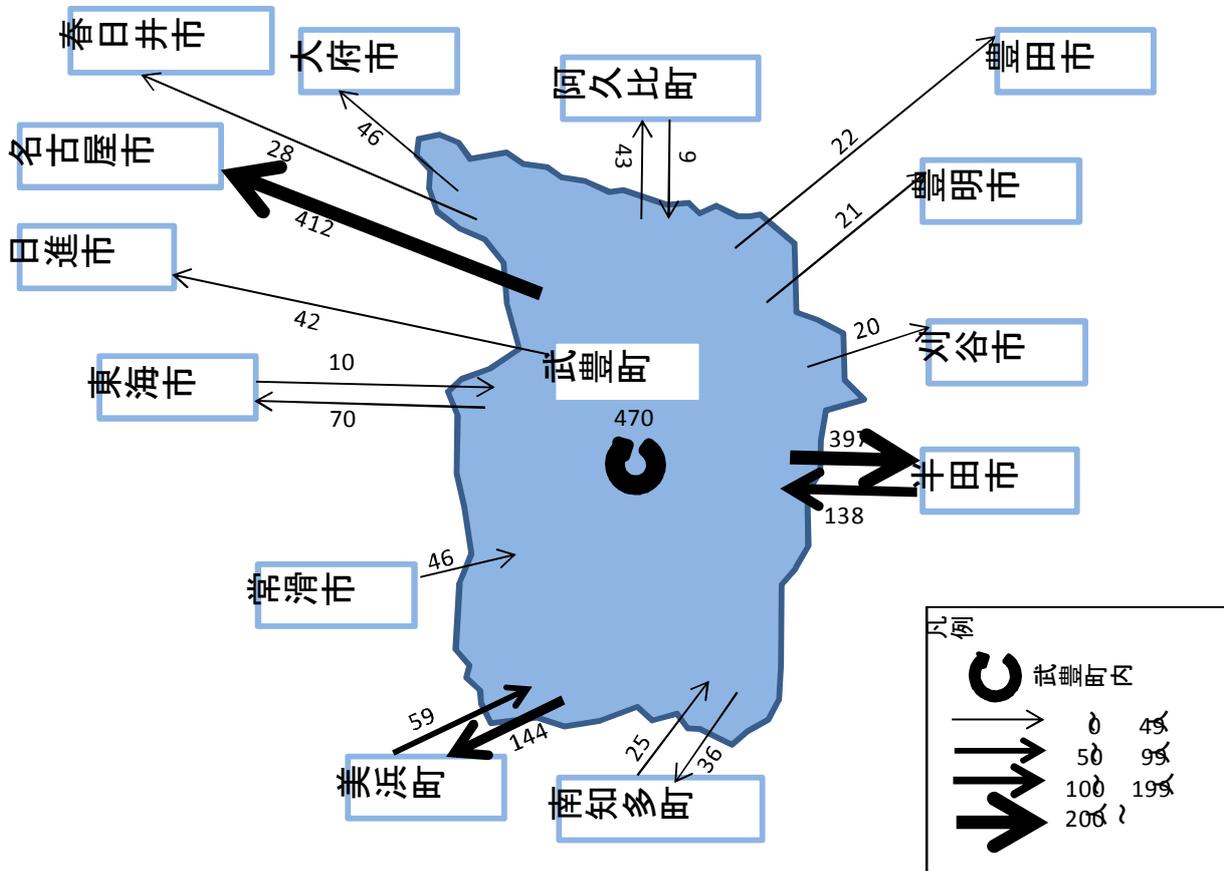
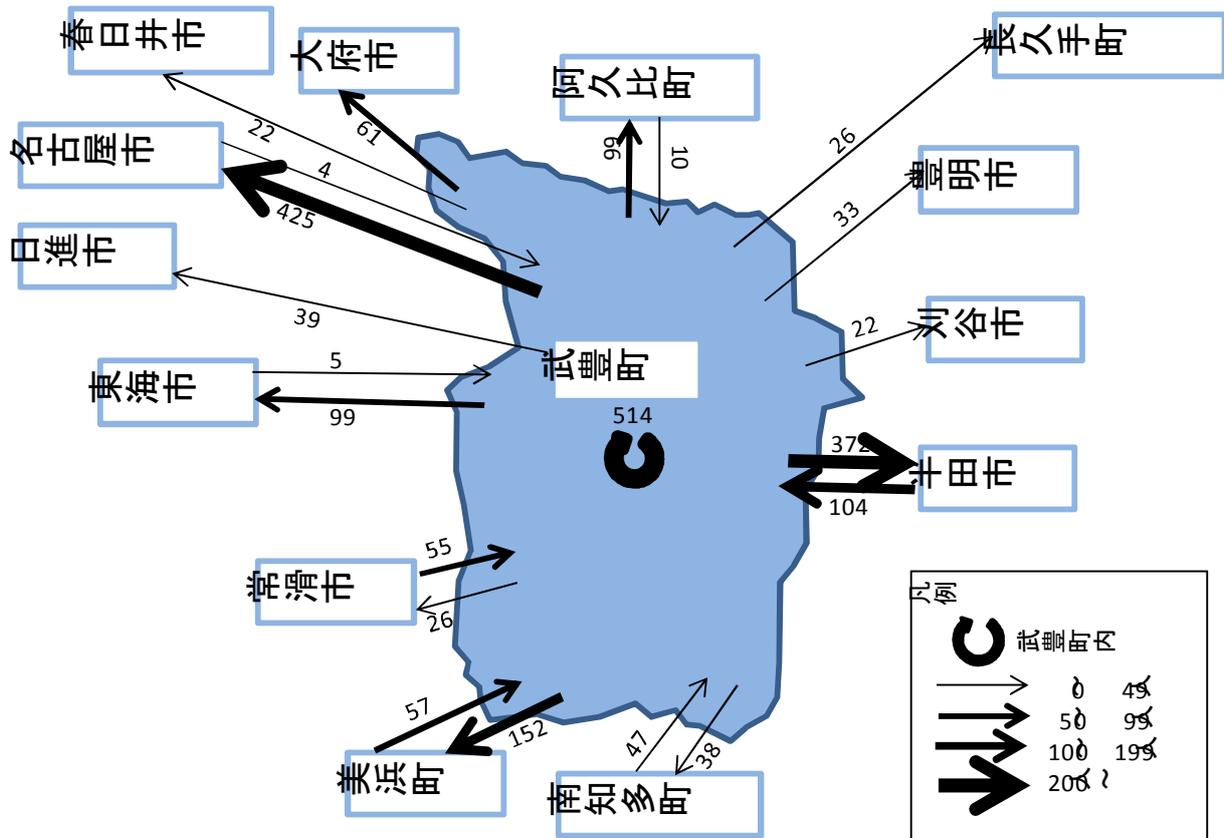


図 1-8 武豊町の通学流動（上：H17 下：H22）

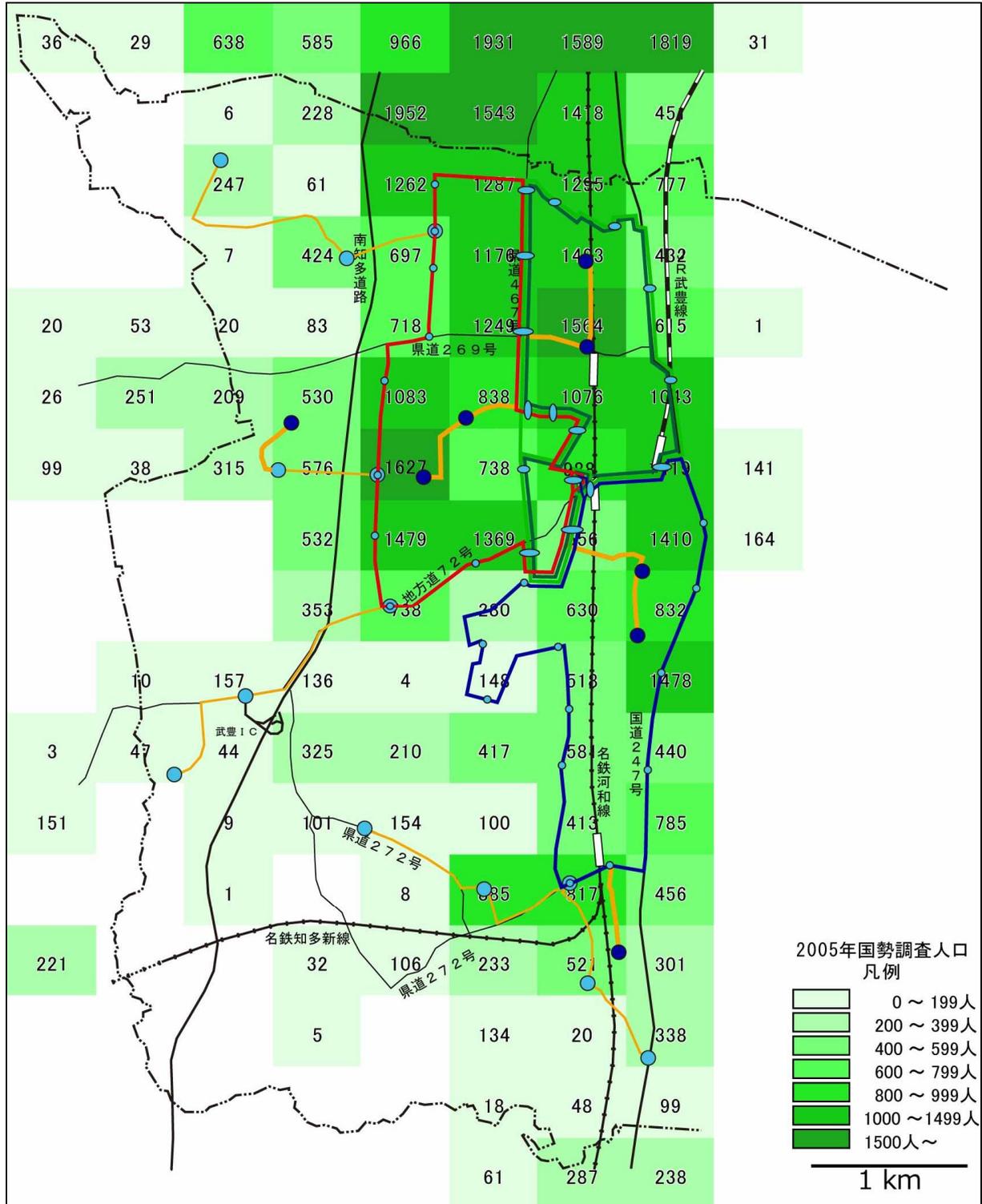


(4) 人口分布状況

武豊町における国勢調査人口の500m×500mメッシュ単位での人口分布状況を確認した。メッシュ内の数字は、当該メッシュ内に居住する人口を示す。

人口が集中しているエリアは、JR武豊線及び名鉄河和線沿線の北部地区、都市計画法の「市街化区域」であることがわかる。

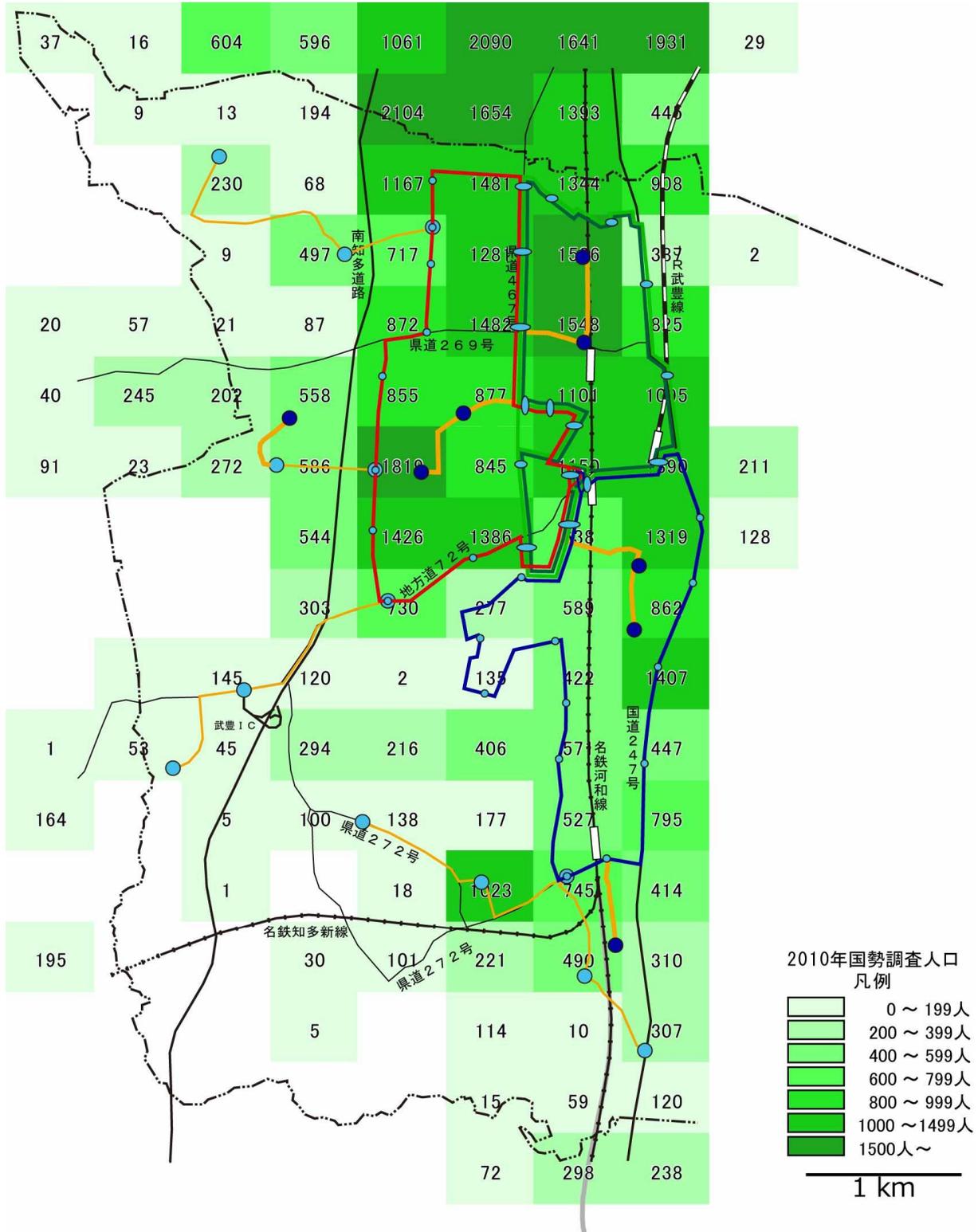
図 1-9 武豊町 地区別人口（平成 17 年）



〈資料〉平成 17 年度国勢調査(技研商事『Market Analyzer』を用いて作成)

平成17年と22年の比較を行うと、町全体の人口増加をうけて、各メッシュの人口も一部を除き増加している。

図1-10 武豊町 地区別人口（平成22年）



〈資料〉平成22年度国勢調査(技研商事『Market Analyzer』を用いて作成)

3. 交通に関する現況のとりまとめ

(1) 総合計画での位置づけ

「たけとよ ゆめたろうプラン 第5次武豊町総合計画」での、地域公共交通の位置づけをまとめると以下のようになっている。

○基本構想

「安全に暮らせるまち」

○分野別将来像

「道路や公共交通を利用して気軽に移動できるまち。」

○実現方針

「日常生活の利便性を高めるため、町内の生活拠点へ気軽に移動できる道路と公共交通の整備を進めます。」

○施策方針

「公共施設、医療機関、商業施設など、日常の生活拠点へ気軽に移動できる地域公共交通体系を、地域の意見を活かしながら整備します。」

(2) 人口動向のまとめ

- ・武豊町の人口は、平成 22 年まで増加傾向にあり、総合計画の見通しでは、平成 29 年までゆるやかに増加する見込みである。
- ・通勤通学流動は、名古屋市・半田・常滑市等には流出、美浜町・南知多町等は流入超過となっている。平成 17 年・22 年比較では、全体としては減少している。
- ・人口分布状況としては、市街化区域に人口が集中している。

(3) 現況分析のとりまとめ

- ・計画見直しにあたり、町の最上位計画の改訂は特になく、「公共施設、医療機関、商業施設など、日常の生活拠点へ気軽に移動できる地域公共交通体系を、地域の意見を活かしながら整備します」という施策方針は、達成できている状況にある。
- ・人口動態は、平成 29 年ごろまで増加見通しであるため、潜在需要は増加する。現状の公共交通サービスを基本的に維持持続しやすい環境にある。
- ・人口分布状況も、市街化区域に集中した構造は大きな変化はなく、コミュニティバスの 4 つのルートで概ねカバーできている。

II コミュニティバス・乗り合いタクシーの路線別評価

1. 武豊町コミュニティバスの利用実績の推移

①路線別利用実績

H22年7～9月の利用者数は、初年度の無料お試し期間の影響により他期間実績よりも多い。

対前年同月と比較すると、H24年度の4月時のみ減少したものの、その他期間は増加しており、順調に推移していると判断できる。

ただし、路線別ではルート別の推移に差があり、北部赤ルートの伸びが最も大きい、南部青ルート等は増加していない。

1日1便当たりの乗車人員について、緑（左）ルートが2.5人/便と最も少なく、最も多い赤ルート（6.9人/便）と比較し、約4人の差がある。

年月	日運行 回数	利用者数 単位(人)					1日便当たりの乗車人数 単位(人/便)					運営収入 単位(円)	
		緑(右)ルート		緑(左)ルート		赤ルート	緑(右)ルート		緑(左)ルート		赤ルート		平均
		日便	日便	日便	日便		日便	日便	日便	日便			
H22		31	75	53	114	10	36	38	43	49	38	9800	
H23		31	72	52	109	10	33	33	41	49	37	9600	
H24		31	70	50	107	10	32	32	40	48	37	9500	
累計合計		91	217	155	330	30	97	97	124	146	112	29000	

年度	日運行 回数	利用者数 単位(人)					1日便当たりの乗車人数 単位(人/便)					運営収入 単位(円)	
		緑(右)ルート		緑(左)ルート		赤ルート	緑(右)ルート		緑(左)ルート		赤ルート		平均
		日便	日便	日便	日便		日便	日便	日便	日便			
H22年度	31	75	53	114	10	36	38	43	49	38	9800		
H23年度	31	72	52	109	10	33	33	41	49	37	9600		
H24年度	31	70	50	107	10	32	32	40	48	37	9500		

※1 H22年度＝H22年7月～H22年9月間

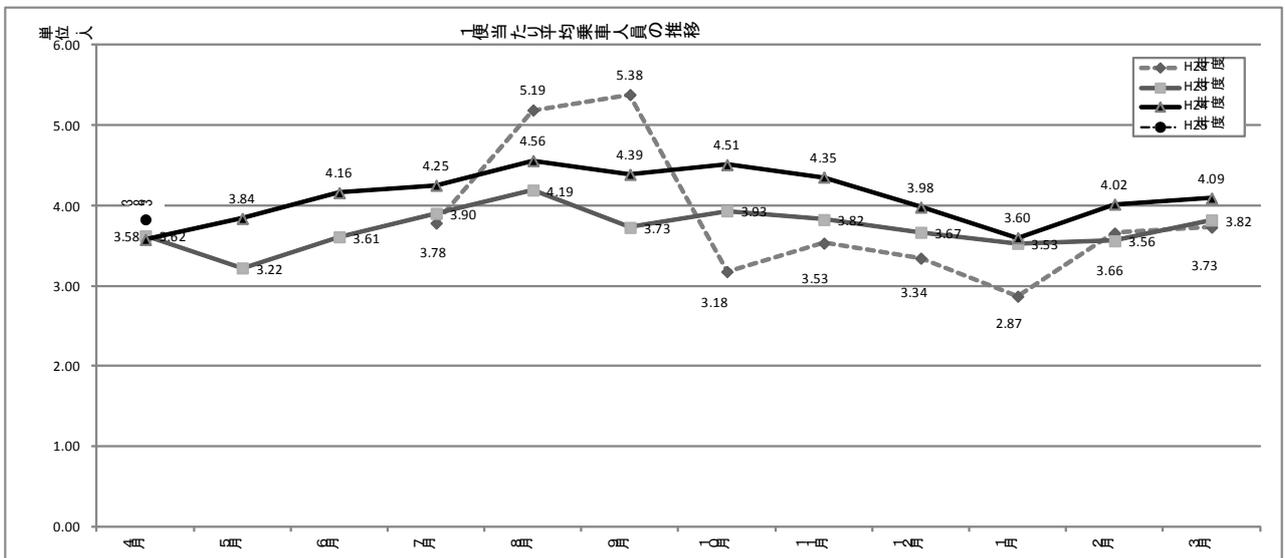
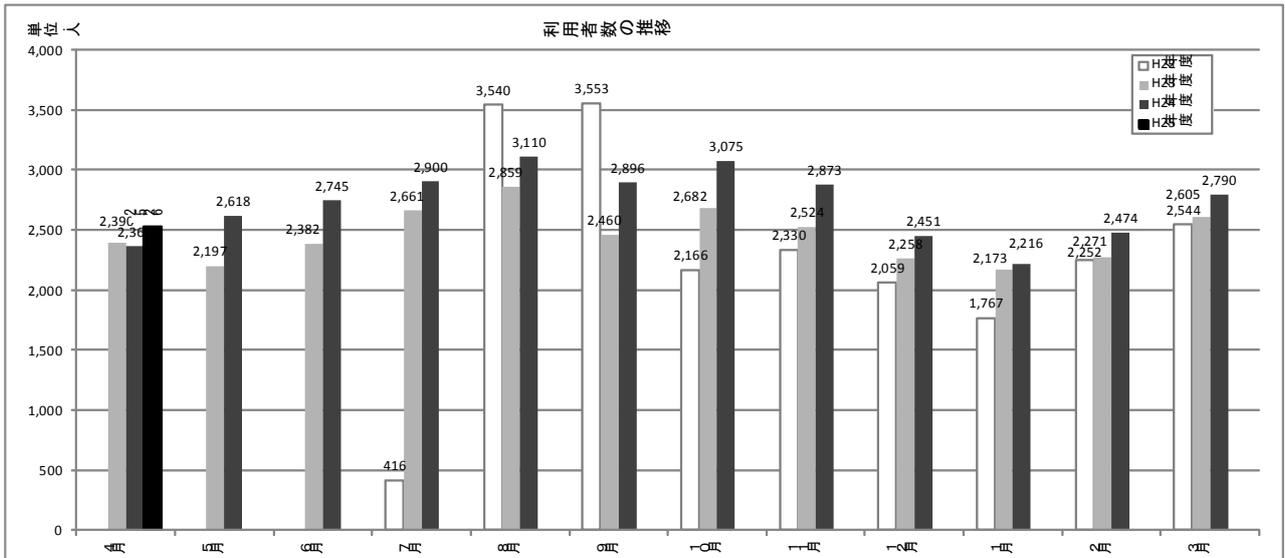
※2 H23年度＝H23年7月～H23年9月間

※3 H24年度＝H24年7月～H24年9月間

＜主な変動要因＞

H24年7～9月、無料お試し期間

月	大人				小人				合計			1日当たり平均乗車人数		
	乗車人数	乗車人数	乗車人数	乗車人数	乗車人数	乗車人数	乗車人数	乗車人数	乗車人数	乗車人数	乗車人数	乗車人数	乗車人数	乗車人数
1月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
2月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
3月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
4月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
5月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
6月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
7月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
8月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
9月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
10月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
11月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
12月	2,390	2,390	2,390	2,390	416	2,661	2,900	3,110	2,859	2,460	2,682	2,330	2,258	2,216
合計	28,680	28,680	28,680	28,680	5,000	32,681	35,800	37,310	34,449	29,560	32,162	27,990	27,058	26,592



②バス停留所別利用状況

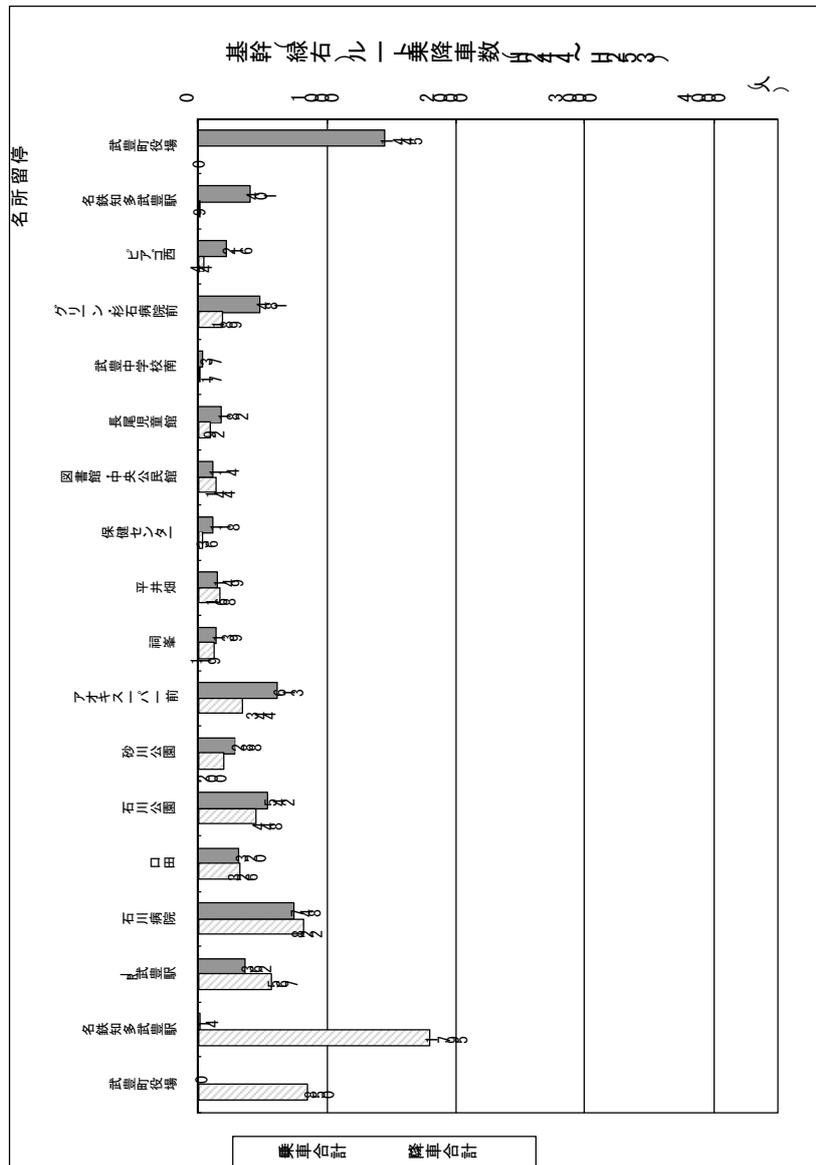
○緑（右）ルート

緑（右まわり）ルートの
昨年度1年間のバス停留所
別の利用実績は右のとおり。

乗車・降車が全体の3%
に満たないバス停留所は、
「武豊中学校南」「長尾児童
館」「保健センター」等のバ
ス停留所となっている。

停留所名	乗車			降車		
	大人	小人	乗車合計	大人	小人	降車合計
武豊町役場	134	10	144	70	20	90
名張知多武豊駅	33	8	41	7	12	19
こつ石	47	5	52	4	2	6
武豊中学校南	33	2	35	3	4	7
長尾児童館	16	16	32	7	15	22
図書館 中央公民館	7	18	25	3	14	17
保健センター	7	4	11	5	7	12
平井畑	16	9	25	4	7	11
福業	16	10	26	3	6	9
アオキスーパ一前	56	11	67	13	9	22
砂川公園	56	9	65	11	9	20
石川公園	50	12	62	12	6	18
口田	33	17	50	8	8	16
石川病院	34	4	38	3	9	12
武豊駅	34	7	41	5	9	14
名張知多武豊駅	4	0	4	3	5	8
武豊町役場	0	0	0	7	8	15
合計	566	166	732	70	101	171

乗車時全体の3%未満箇所
降車時全体の3%未満箇所



○緑（左）ルート

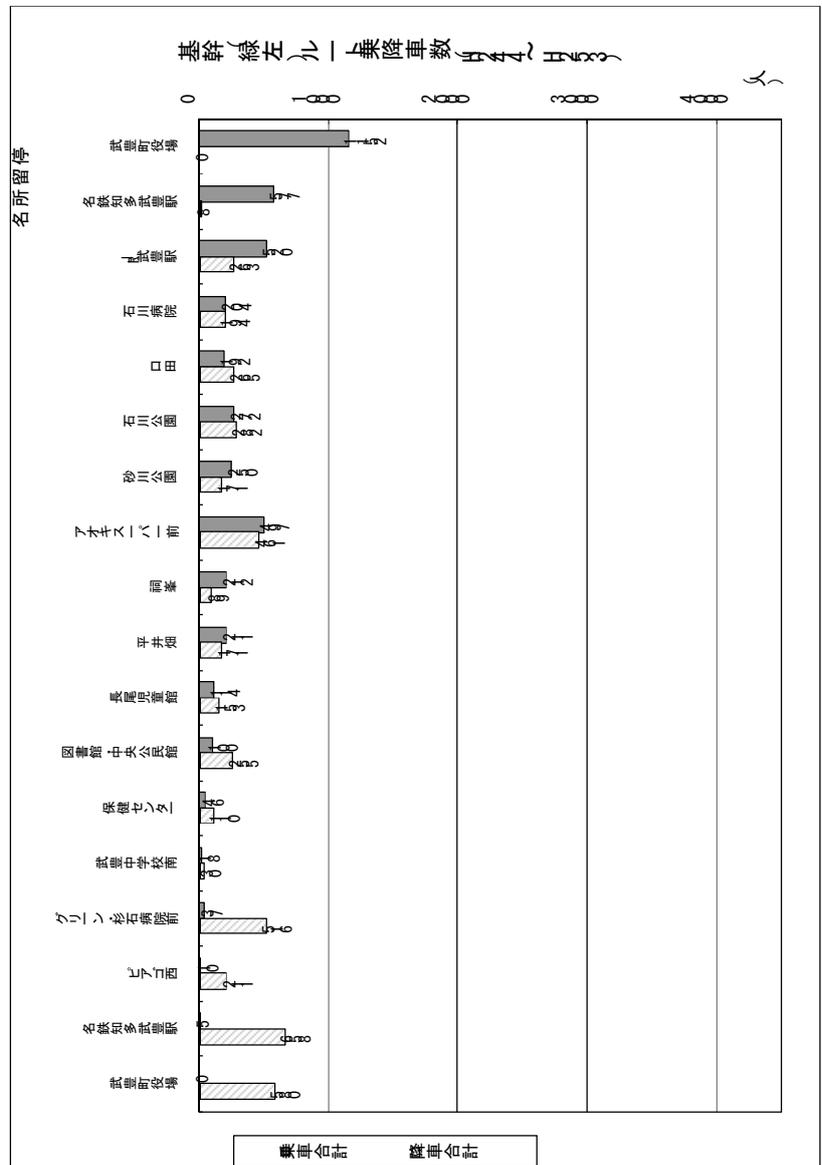
緑（左まわり）ルート
の昨年度1年間のバス停留所別の利用実績は右のとおり。

乗車・降車が全体の3%に満たないバス停留所は、「長尾児童館」「保健センター」「武豊中学校南」バス停留所となっている。

「武豊中学校南」「長尾児童館」「保健センター」バス停留所は、緑ルートの右まわり・左まわりの両方とも利用者が少ない。

停留所名	乗車			降車		
	大人	小人	乗車合計	大人	小人	降車合計
武豊役場	104	16	120	0	0	0
名鉄知多公園	158	19	177	8	10	18
上野原	194	16	210	19	14	33
口田	192	20	212	19	19	38
石川公園	260	22	282	16	15	31
アキスーイチ	262	22	284	16	15	31
福業	182	24	206	18	3	21
平井	188	16	204	14	26	40
長尾児童館	84	16	100	14	26	40
国書館 中央公民館	88	16	104	11	22	33
保健センター	142	4	146	19	13	32
武豊中学校南	88	0	88	10	0	10
グリーン 彩石公園前	133	20	153	14	14	28
上ノ下	133	0	133	15	2	17
名鉄知多公園	105	0	105	13	9	22
武豊役場	0	0	0	17	15	32
合計	408	99	507	408	99	507

乗車時全体の3%未満
降車時全体の3%未満



○赤ルート

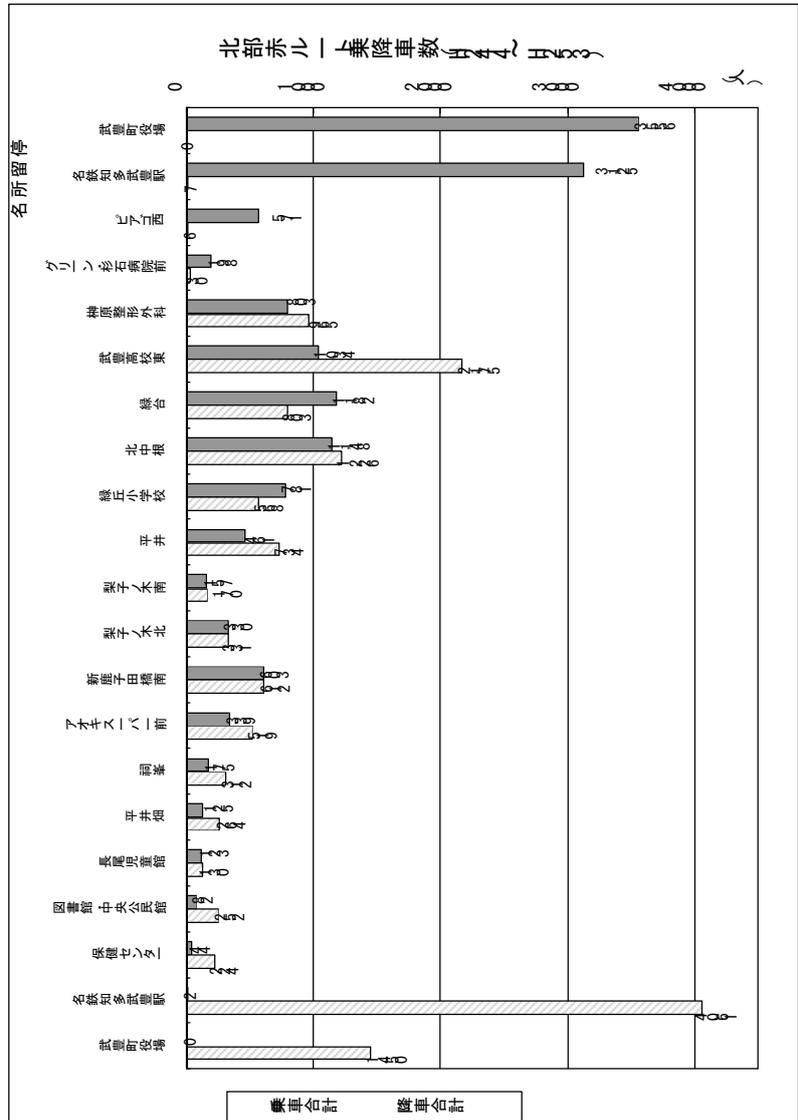
北部・赤ルートの昨年度1年間のバス停留所別の利用実績は右のとおり。

乗車・降車が全体の3%に満たないバス停留所は、「グリーン・杉石病院前」「梨子ノ木」「梨子ノ木北」「新鹿子田橋南」「木ノサカハチ前」「平井南」「長尾児童館」「図書館・中央公民館」等のバス停留所となっている。

「梨子ノ木南」「長尾児童館」のバス停留所は、事前予約制バス（乗り合いタクシー）の接続箇所である。

停留所名	乗車			降車		
	大人	小人	乗車合計	大人	小人	降車合計
武蔵野役場	3399	169	3568	0	0	0
名鉄和多武霊駅	3099	176	3275	0	0	0
上二河	1599	12	1611	54	13	67
グリーン・杉石病院前	19	17	36	57	5	62
榊原整形外科	792	11	803	28	4	32
武蔵野校東	99	9	108	23	2	25
総合	199	49	248	23	2	25
北中根	992	6	998	20	4	24
鎌田小学校	992	2	994	24	4	28
平井	499	25	524	69	4	73
梨子ノ木南	19	19	38	16	10	26
梨子ノ木北	37	13	50	99	2	101
新鹿子田橋南	59	53	112	57	53	110
木ノサカハチ前	99	9	108	45	2	47
平井南	19	18	37	99	9	108
長尾児童館	99	9	108	99	9	108
図書館・中央公民館	99	4	103	24	99	123
保健センター	9	2	11	99	99	198
名鉄和多武霊駅	0	0	0	99	99	198
武蔵野役場	0	0	0	99	99	198
合計	1494	99	1593	1494	99	1593

乗車時全体の%未満箇所
降車時全体の%未満箇所



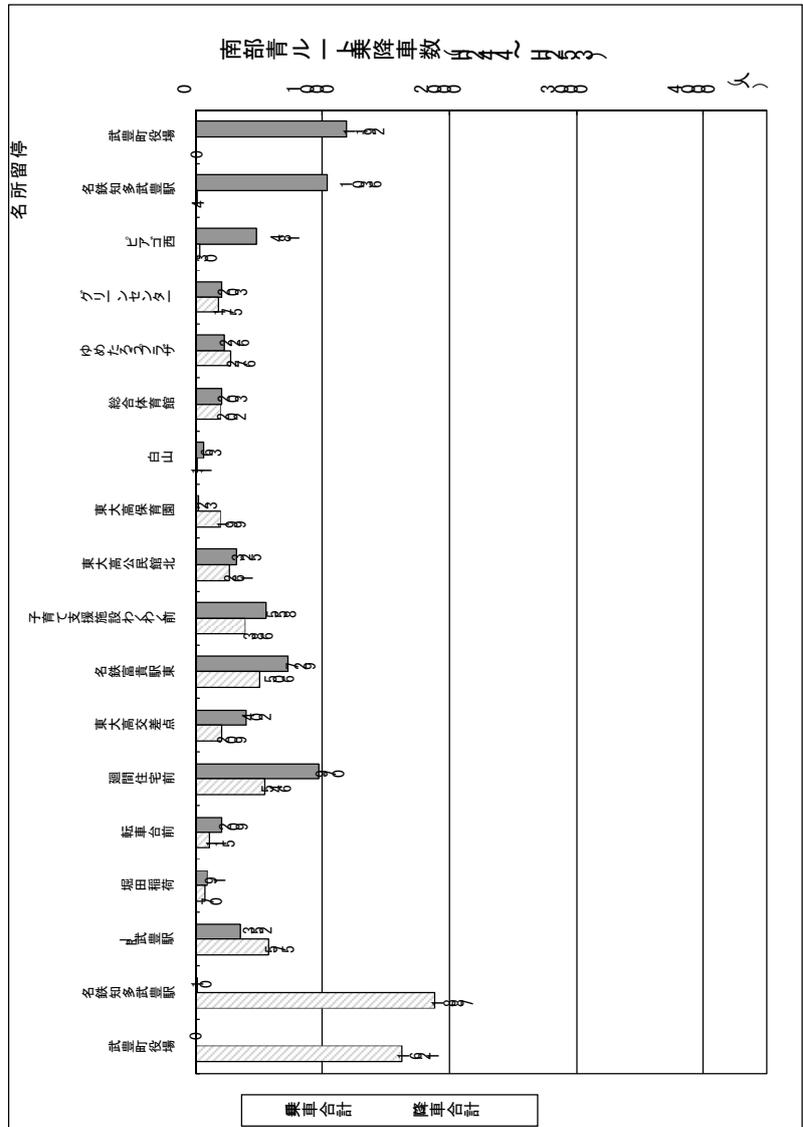
○青ルート

南部・青ルートの昨年度1年間のバス停留所別の利用実績は右のとおり。

乗車・降車が全体の3%に満たないバス停留所は、「グリーンセンター」「総合体育館」「白山」等のバス停留所となっている。

停留所名	乗車			降車		
	大人	小人	乗車合計	大人	小人	降車合計
武豊駅前	109	10	119	10	0	10
名鉄知多武豊駅	90	10	100	10	0	10
アトリエ	90	10	100	10	0	10
グリーンセンター	10	0	10	10	0	10
ゆめだろろ子	10	0	10	10	0	10
総合体育館	10	0	10	10	0	10
白山	10	0	10	10	0	10
東大塚保育園	10	0	10	10	0	10
東大塚公民館北	10	0	10	10	0	10
子育て支援施設わいわい前	10	0	10	10	0	10
名鉄豊田駅前	10	0	10	10	0	10
東大塚交差点	10	0	10	10	0	10
調音社前	10	0	10	10	0	10
軽車台前	10	0	10	10	0	10
照田舞荷	10	0	10	10	0	10
上武豊駅	10	0	10	10	0	10
名鉄知多武豊駅	10	0	10	10	0	10
武豊駅前	10	0	10	10	0	10
合計	600	50	650	700	60	760

乗車時全体の3%未満箇所
降車時全体の3%未満箇所

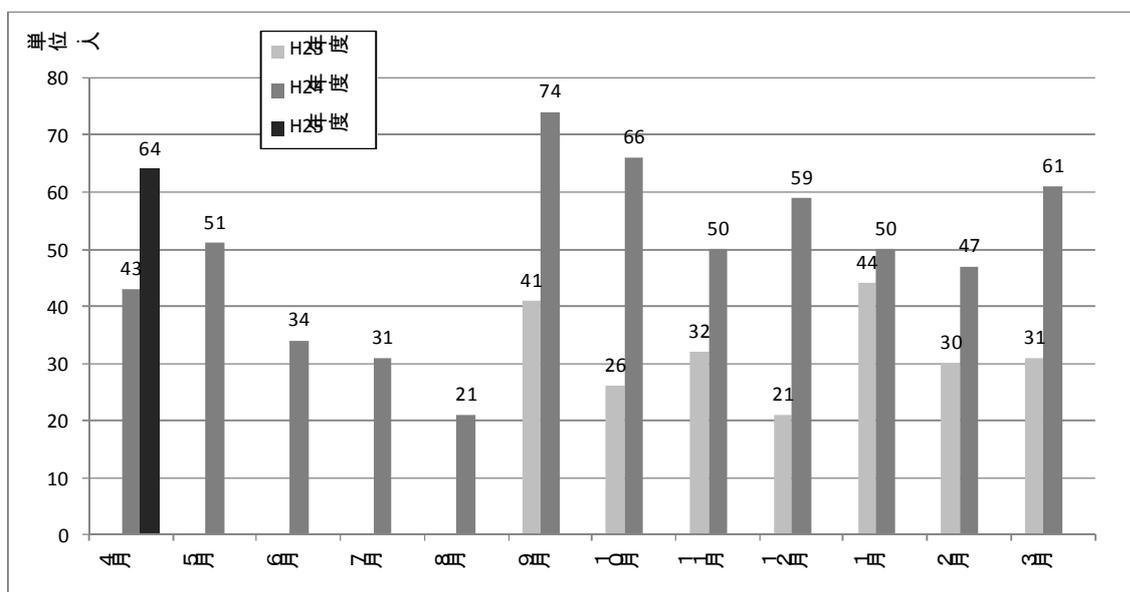


2. 事前予約制バス（乗合タクシー）の利用実績の推移

事前予約制バス（乗合タクシー）の利用実績は、旧ルート（5ルート・9経路）で、新ルート（9ルート・17経路）は約59人となっており、全体の利用者数はルートの増加に応じて増加している。

事前予約制バス（乗合タクシー）は、コミュニティバスへの乗り継ぎ利用が殆どなので、コミュニティバスの利用増加に貢献していると言える。

なお、笠松・新田ルート（新田⇄子育て施設）、砂水ルート（砂水⇄富貴駅東）、二ヶ崎・上げ駅北ルート（上げ駅北⇄平井畑）などの経路は、利用者数が極端に少ない。



3. コミュニティバス等の運行を左右する外部環境変化について

○国道 247 号線（石川橋）付近の道路改良工事について

- ・武豊町の北部地区の国道 247 号線（石川橋）付近について、右折車線確保のための道路改良工事が現在行われており、今年度中に終了する予定となっている。
- ・当該地区付近の国道 247 号線沿線・半田市南部地区に大型商業施設（イオン半田店・ケーズデンキ半田南店等）が立地している。過去の住民アンケート調査において買い物場所としてイオン半田店が選択されており、武豊町民の買い物利用が認められる。
- ・国道 247 号線（石川橋）付近の道路改良工事の終了により円滑な走行環境の確保ができることから、1 周約 35 分程度で計画運行しているコミュニティバス（緑ルート）が、わずかな時間で当該商業施設への乗り入れができるかどうか、検討する必要があるものと思われる。

※地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果への対応

- ・二次評価において「周辺市との関係も考慮した新たな連携計画策定を見据えた事業計画の見直し」について期待されている。半田市南部地区の大型商業施設との接続検討は、この周辺市との関係を考慮した検討に該当する。

4. 路線別評価のとりまとめ

（1）コミュニティバスの利用実績

○路線別利用実績

- ・平成 22 年の事業開始後、一部期間を除き、概ね増加しており、順調に推移していると判断できる。ただし、路線別ではルート別の推移に差があり、北部赤ルートの伸びが最も大きい、南部青ルート等は増加していない。

○バス停留所別利用実績

- ・各ルートの 1 年間の乗車・降車数に対して、3%に満たない利用の少ないバス停留所を確認した。4 ルートともに、それぞれ利用の少ないバス停留所が存在している。

（2）事前予約制バス（乗合タクシー）の利用実績

- ・ルートの新設で全体の利用者数は増加している一方で、「笠松・新田ルート」「砂水ルート」「ニヶ崎・上ヶ駅北ルート」などの一部停留所で利用者が極端に少ない。

（3）外部環境変化

- ・国道 247 号線（石川橋）付近の道路改良工事終了予定を踏まえ、半田市南部地区の商業施設への乗り入れ可能性検討する必要がある。

（4）全体総括

- ・コミュニティバスの利用者総数は増加しており、また、武豊町の将来人口推計も増加見通しにあるため、事業の存続は問題が無い。ただし、ルート別に利用者数に差があること、また、利用の少ないバス停留所が存在することから、それぞれのルート毎に、運行便数の配分、ルートの一部変更などの改善について検討が必要である。
- ・事前予約制バス（乗合タクシー）についても、利用の少ない停留所が存在するため、ルートの変更などの改善の検討が必要である。